

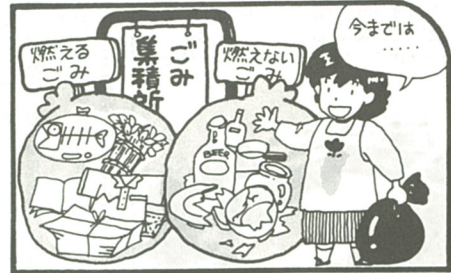
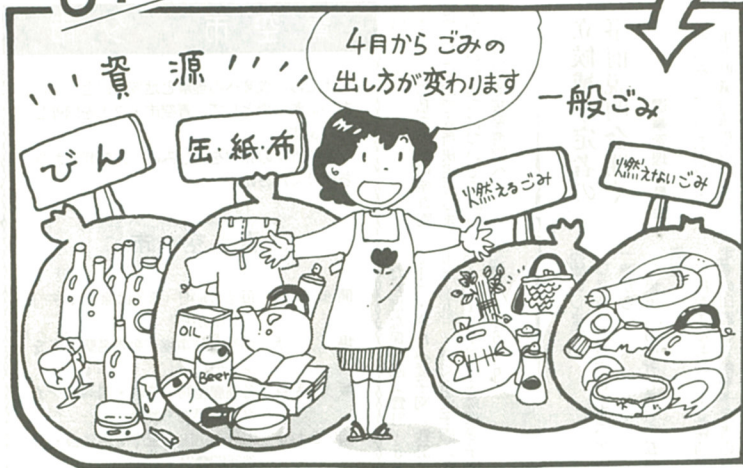
世帯と人口
(平成3年1月1日)

| | |
|----|-----------------|
| 世帯 | 35,082 (+61) |
| 人口 | 106,188人 (+117) |
| 男 | 54,608人 |
| 女 | 51,580人 |

広報 えびな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31・2111

4月1日から びん・缶・紙・布を別個に回収



みなさんがごみ集積所に出している燃えるごみ、燃えないごみの量は年々増加していますが、こうした一般ごみの中には空きびん、空き缶、古新聞のように、資源として再利用できるものが数多く含まれています。そこで、こうした資源をむだにしないため、市では4月1日から「資源分別回収事業」を実施して、一般ごみの回収日とは別に空きびんやガラスなどを回収する「びんの日」と、空き缶や古紙・布などを回収する「缶と紙と布の日」を新たに設けることになりました。この資源の分別回収に、市民のみなさんのご協力をお願いします。

分別で資源生かそう

ごみ再利用に協力を

4月1日からスタートする「資源分別回収事業」は、ごみを資源化し再利用することで、ごみの減量化と処理経費の節約や、地球資源の保護とエネルギーの節約などを行うことを目的としています。この事業には市民のみなさんのご協力が欠かせませんので、よろしくお願いいたします。

事業の内容は、みなさんが今まで一般ごみ(燃えるごみ、燃



古新聞、びんなどは資源の回収日に集積所へ...

「びんの日」の新設

「燃えないごみの収集日」の一部を変更して、「びんの日」と「缶と紙と布の日」をそれぞれ毎月1回ずつ設けますので、各地区の収集日は4月から右下表のようになります。

4月からの一般ごみ収集日と資源の回収日

| 地区 | 種類 | 一般ごみの収集日 | 資源の回収日 |
|----------------------------|--------|----------|---------|
| 上河内、中河内、社家、中野、今里、杉久保、郷、門沢橋 | 燃えるごみ | 火・木・土 | びんの日 |
| 上郷、下今泉、中新田、さつき町、河原口 | 燃えないごみ | 火・木・土 | 缶と紙と布の日 |
| 大谷、国分寺台、浜田町、柏ヶ谷、東柏ヶ谷 | 燃えるごみ | 月・水・金 | びんの日 |
| 国分、勝瀬、上今泉、望地 | 燃えないごみ | 月・水・金 | 缶と紙と布の日 |

資源の回収日に回収する物品

| 「缶と紙と布の日」に回収するもの | 「びんの日」に回収するもの |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 缶・金物類…ビール・ジュース・缶詰・食品などの缶類 紙類…新聞・雑誌・ダンボール・古本などの紙類 布類…古着・カーテン・シーツ・布切れなどの布類 | <ul style="list-style-type: none"> びん類…ビール・ジュース・ウイスキー・ドリンクなどの飲料びん、しょうゆ・ジャム・コーヒー・調味料などの食品びん、化粧品のびん ガラス類…板ガラス・コップなどのガラス類 |

フォトピックス

親子112組が参加

ジャンボかるた大会

一月十九日、新春恒例の「親子ジャンボかるた大会」が、福名小学校グラウンドで開かれ、市内各地から百十二組、約二百二十人の親子が参加した。

この大会は、親と子が手をつなぎ、グラウンドいっぱい配られたジャンボかるたを取り合うもので、かるたを楽しむながら郷土の歴史や文化財を学ぶとともに、親子のふれあいを深めることを目的としており、今年で十四回目。



わき目も振らず目指す絵札に突進

参加者は小人数の仲間を相手に、わか同窓会といった趣で交流を深めたり、式場で引き続き行われた落語家林久蔵さんの記念講演「笑いと人生」を聞くなどして、それぞれに、人生の節目の一日、を過ごした。

成人の日の一月十五日、市文化会館で成人式が行われ、市内在住の新成人二千二百二人のうち約千三百人が参加した。

式典は午前十時に始まり、教

大人への仲間入り

市文化会館で成人式

育委員長のあいさつ、来賓祝詞、記念品デレホ、カド、授与などが行われた後、新成人男性を代表して渡辺俊行さんがあいさつに立ち、「先輩たちが築いてくれたこの良い世の中を受け継いでいけるよう、自覚と責任を持って努力していきたい」と抱負を述べると、会場は拍手に包まれた。



晴れ着姿が目立った成人式会場

社小の人気者

ウーパールーパーがふ化

社小小学校(加藤沙彌子校長、児童数約八十人)では、昨年末、珍獣ウーパールーパー(学名アホロートル、メキシコサンショウウオの一種)をウオの一種として、それぞ



本番さながらの救出訓練

消防演技も披露

市役所西側広場で出初式

新春恒例の消防出初式が、一月十四日、市役所西側広場で

われ、市消防署、市内全消防分団、事業所の自衛消防隊、本郷自治会の自主防災組織などが参加した。

消防隊行列行進引き続き、開式となり、平成二年度の消防功労者表彰などが行われ、消防

演技が披露された

消防演技では、本郷自治会の自主防災組織による初期消火訓練や福名厚生病院女子自衛消防隊、雪印乳業自衛消防隊、第八分団(柏ヶ谷)の名演技が披露されたほか、消防署員による高層建物火災を想定した救出訓練も本番さながらに行われ、来場した市民約四百人は、盛んな拍手を送っていた。



元気に泳ぐウーパールーパーの赤ちゃん

このウーパールーパーを家で飼育してみたいという方には、お分けするのことに、問い合わせては、同校(38・1453)西沢教頭先生まで。

海老名むかしむかし

第249話

本郷の代官屋敷と水牢の跡

江戸時代の相模国は大部分が旗本領であって、藩領や天領(幕府の直轄地)は比較的少なく、その中に混在している。これら三者をいって領地替えも行われたが、当時の本郷村はその典型的な村であったといつてよいであろう。

すなわち、本郷は家康関東入国以来はらく天領であったが、寛永二年(一六二五年)に村の一部が旗田藩領となった。旗田の天領は寛永九年に半井野庵成近の支配地となつたため、全村が天領でなくなった。しかし、万治三年(一六六〇年)になると畑田領は再び天領に転じ、その後旗田藩領から天領(天和二年から元禄十年までの十五年間)に、さらに旗本領へと変遷し明治に至っている。この間に検討を加えてみよう。



水牢跡にひっそりと建つ供養碑

も三回幕府の直轄地になっていたのである。天領には専政を直接担当する地方官、すなわち代官という役人を置いた。その役名を代官所または代官屋敷といひ、役所、訴所、仮牢などを備えておくことが建前であった。本郷の代官屋敷はどこにあったか、寛永二年(一六二五年)に村の一部が旗田藩領となった。旗田の天領は寛永九年に半井野庵成近の支配地となつたため、全村が天領でなくなった。しかし、万治三年(一六六〇年)になると畑田領は再び天領に転じ、その後旗田藩領から天領(天和二年から元禄十年までの十五年間)に、さらに旗本領へと変遷し明治に至っている。この間に検討を加えてみよう。

その昔我家に隣る山林は三千余坪の代官屋敷

堅固なる構えし屋敷

敷巡らせて守れるための堀跡が残る

道路より覆みて見ゆる表門長常口

外堀は明治初年の改革に総意の基に村の共有

これは昭和十一年に亡くなられた本郷二二九番地の嶋志田平蔵

表門が覆んで見えたというが、豪勢なものであったに違いない。

本年は屋敷の西北方にあつたらしい。本年とは生舎に賣の子を敷き、その上に罪人を座らせて水漬けにする刑罰である。本年跡は屋敷地より一段低く、前の福名名耕地と高度はほぼ同じで、水漬け用の水を永池川より引き込むには立地条件は満点である。

この刑は年貢未納者に限って行われたものだが、伝へによると下河内の百姓某がこの刑を受けて年死し、財産没収の憂き目をみたといふ。

◎伝えきくも年貢を不納せは入れられたという水牢の跡——これも平蔵翁の作。



代官屋敷跡地(二部)

海老名むかしむかし

☎33・3333

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。
1月23日～2月5日 第81話 狐に育てられた娘
2月6日～2月19日 第82話 ちぢい田